

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月30日

上場会社名 株式会社 藤商事

上場取引所 JQ

 コード番号 6257 URL <http://www.fujimaruken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 桜井 健一

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

TEL 06-6949-0323

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	8,962	87.7	1,217	—	1,272	—	830	—
21年3月期第1四半期	4,774	—	△311	—	△282	—	△151	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3,257.43	—
21年3月期第1四半期	△593.26	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	51,818	42,169	81.4	165,401.35
21年3月期	55,866	41,962	75.1	164,589.38

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 42,169百万円 21年3月期 41,962百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2,000.00	—	2,500.00	4,500.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		2,250.00	—	2,250.00	4,500.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	21,400	4.1	2,300	14.3	2,400	17.0	1,500	6.1	5,883.39
通期	57,600	1.3	8,300	1.8	8,400	1.9	5,200	2.4	20,395.76

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	254,955株	21年3月期	254,955株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	254,955株	21年3月期第1四半期	254,955株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページから4ページをご参照ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益および雇用情勢が急速に悪化した状態が継続しており、個人消費についても依然として厳しい状況にあります。

パチンコホール業界におきましては、昨年は、洞爺湖サミットに関連して、各地域のパチンコホール業界団体が、5月下旬から7月下旬にかけて実施した入替自粛により、遊技機の需要が減少いたしました。当第1四半期はその影響もなく、前年同期に比べ、遊技機市場全体の販売台数は増加しました。

しかしながら、パチンコホールでは、一部の話題性の高い機種や人気シリーズの後継機種のような、高水準の稼働が見込めるパチンコ遊技機を厳選し大量導入する傾向が顕著となってきております。また、パチスロ遊技機の稼働状況は回復の兆しが見られず、販売台数は低調に推移いたしました。

このような状況のもと当社は、ファンのニーズにマッチした魅力あふれるゲーム性を持った遊技機をタイムリーに発売することで、販売台数の確保に努めてまいりました。パチンコ遊技機では前事業年度に発売した「CR宇宙戦艦ヤマト2」シリーズを継続販売したことに加え、ドット表示器を採用した遊技機や、著名著作権とタイアップした遊技機など趣向を凝らした2機種と、パチスロ遊技機1機種を発売いたしました。

この結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高89億62百万円（対前年同期比87.7%増）、営業利益12億17百万円（前年同期は営業損失3億11百万円）、経常利益12億72百万円（前年同期は経常損失2億82百万円）、四半期純利益8億30百万円（前年同期は四半期純損失1億51百万円）となりました。

事業の部門別の状況は次のとおりであります。

#### （パチンコ遊技機事業）

パチンコ遊技機事業につきましては、コミカルかつ多彩な演出で好評を得た「ヒト味違う」当社オリジナル機種「CRレーザーシャトル」シリーズ（平成21年4月発売）、巨大可動役物を搭載した「CRサンダーバード 国際救助隊発進！」シリーズ（平成21年5月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は34千台（対前年同期比108.3%増）、売上高87億13百万円（同82.5%増）となりました。

#### （パチスロ遊技機事業）

パチスロ遊技機事業につきましては、SFアクション漫画とのタイアップ機種「COBRA - THE SLOT -」（平成21年5月発売）を市場投入いたしました。販売台数が低調に推移し、売上高2億49百万円（前年同期は売上高0百万円）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### （1）資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ40億48百万円減少し、518億18百万円となりました。

これは主に原材料及び貯蔵品が8億79百万円増加したのに対し、現金及び預金が33億63百万円、売上債権が11億65百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ42億55百万円減少し、96億48百万円となりました。

これは主に未払法人税等が25億8百万円、買掛金が8億88百万円、未払消費税等が3億6百万円、未払金が2億27百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ2億7百万円増加し、421億69百万円となりました。

これは主に利益剰余金の増加などであります。

#### （2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ33億63百万円減少し228億27百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、19億97百万円（前年同期は6億2百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益12億85百万円、売上債権の減少11億65百万円などが増加の要因であり、法人税等の支払27億40百万円、たな卸資産の増加8億52百万円、未払金の減少4億60百万円、仕入債務の減少4億58百万円などが減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億80百万円(前年同期は14億11百万円の資金の減少)となりました。これは主に、有価証券の償還による収入5億円などが増加の要因であり、有形固定資産の取得による支出7億74百万円、有価証券の取得による支出5億2百万円などが減少の要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億85百万円(前年同期は5億11百万円の資金の減少)となりました。これは、配当金の支払によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月13日発表の業績予想に変更ありません。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,827	26,190
受取手形及び売掛金	5,778	6,943
有価証券	2,602	2,101
商品及び製品	96	123
原材料及び貯蔵品	4,426	3,546
前渡金	1,367	1,301
繰延税金資産	511	714
その他	343	424
貸倒引当金	△33	△40
流動資産合計	37,920	41,307
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,466	2,499
機械及び装置（純額）	1,025	1,120
工具、器具及び備品（純額）	1,338	1,317
土地	4,363	4,363
その他（純額）	128	116
有形固定資産合計	9,322	9,417
無形固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	2,480	2,571
その他	1,930	2,408
貸倒引当金	△19	△26
投資その他の資産合計	4,390	4,952
固定資産合計	13,897	14,559
資産合計	51,818	55,866

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,089	6,978
未払法人税等	277	2,785
未払消費税等	83	389
賞与引当金	230	460
役員賞与引当金	—	180
その他	1,564	1,718
流動負債合計	8,244	12,512
固定負債		
退職給付引当金	636	623
その他	767	768
固定負債合計	1,403	1,391
負債合計	9,648	13,903
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	35,620	35,426
株主資本合計	42,159	41,966
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10	△3
評価・換算差額等合計	10	△3
純資産合計	42,169	41,962
負債純資産合計	51,818	55,866

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	4,774	8,962
売上原価	2,772	4,562
売上総利益	2,001	4,400
販売費及び一般管理費	2,313	3,182
営業利益又は営業損失(△)	△311	1,217
営業外収益		
受取賃貸料	20	20
利用分量配当金	9	14
受取ロイヤリティー	—	22
その他	13	14
営業外収益合計	43	72
営業外費用		
シンジケートローン手数料	8	8
賃貸収入原価	6	6
その他	0	2
営業外費用合計	14	17
経常利益又は経常損失(△)	△282	1,272
特別利益		
貸倒引当金戻入額	40	16
特別利益合計	40	16
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	—	4
特別損失合計	0	4
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△242	1,285
法人税、住民税及び事業税	8	268
法人税等調整額	△99	186
法人税等合計	△90	454
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△151	830

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△242	1,285
減価償却費	529	492
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△38	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△158	△230
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△90	△180
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△699	—
受取利息及び受取配当金	△8	△10
固定資産売却損益 (△は益)	0	—
固定資産除却損	—	4
売上債権の増減額 (△は増加)	5,904	1,165
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△105	△852
未収消費税等の増減額 (△は増加)	142	—
長期前払費用の増減額 (△は増加)	27	75
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,223	△458
未払金の増減額 (△は減少)	△68	△460
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26	△306
その他	666	209
小計	△311	731
利息及び配当金の受取額	7	10
法人税等の支払額	△298	△2,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	△602	△1,997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△1,002	△502
有価証券の償還による収入	—	500
有形固定資産の取得による支出	△114	△774
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の取得による支出	△300	—
その他の支出	△1	△1
その他の収入	11	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,411	△780
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△511	△585
財務活動によるキャッシュ・フロー	△511	△585
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,525	△3,363
現金及び現金同等物の期首残高	21,303	26,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,777	22,827



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。